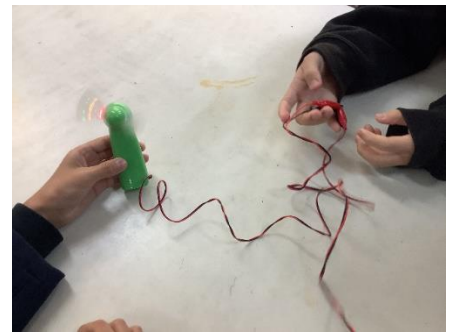


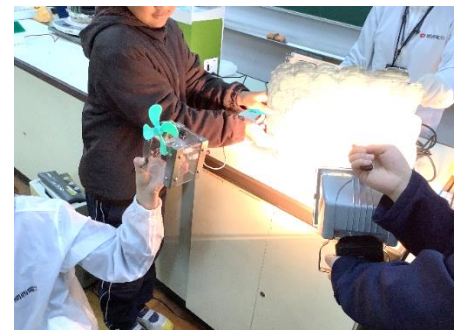
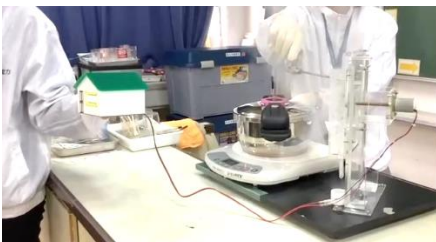
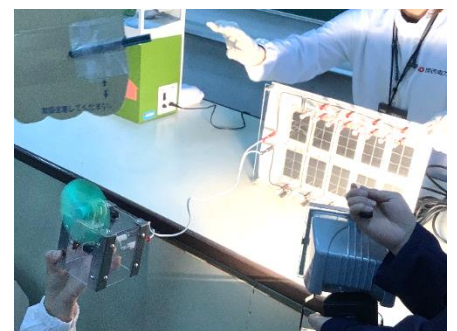


関西電力(株)出前講座「かんでんエネルギー教室」で電気を学ぶ

6年「電気と私たちの暮らし」の学習では、手回し発電機や光電池を使って電気を発電し、電気の利用の仕方を、体験を通して学んでいます。そこで、単元の前半を関西電力株式会社様に出前講座「エネルギー教室」を開いていただいています。11月26日(火)3~5校時に、い・ろ・は組の順に実施しました。



スライド資料で関西電力(株)の仕事内容や、電気が各家庭に送られてくる仕組みなどを詳しく教えていただきました。その後は、手回し発電機でLEDライトが光るプロペラを回したり、火力発電の模型を動かして発電される仕組みを理解したりしました。火力発電は、水を蒸気にしてタービンを回転させることで発電することを学びました。また、太陽光発電は、理科室にある光電池10枚をつなげた大型パネルで、迫力がありました。



揚水式水力発電の模型です。⇒
ビーズを水に見立て、水の流れる力で発電し、夜中に余った電力で山の上までくみ上げて、繰り返し発電しています。



⇐ うちわで風を送ると赤いLEDが光る模型で、風力発電の仕組みを理解しました。その他にも、太い送電線や配電線など、実際の物を持たせていただきました。たくさんの体験を通して、発電の仕方やさまざまな発電方法を知ることができました。